

# 電子納品実機体験研修会（第1回・第2回）を開催

平成28年度（一社）三重県建設業協会 実施事業

平成28年5月17日(火)～18日(水)・5月19日(木)～20日(金)

開催場所：三重県建設産業会館 4階 会議室

津市桜橋2丁目17-2

## 平成28年度 第1回・第2回 電子納品実機体験研修会を開催

参加者：各回定員10名

### 事業内容：

（一社）三重県建設業協会では毎年「電子納品実機体験研修会」を開催し、会員企業の電子納品についての理解とパソコン技能の増進に務めています。今回の研修会は平成28年度第1回・第2回目の研修会です。

平成28年3月、国土交通省は電子納品に関する要領・基準・ガイドラインを改正し、新たな電子納品の形が示されました。しかしながら、三重県では依然として旧要領による電子納品が行われており、国と県で電子納品の方法が違う結果となっています。

このため、電子納品の基本をしっかりと押さえ、電子納品データのファイルワーク・一次管理など電子納品データをどのように活用したら良いか、その活用方法などについての研修を行います。

また、この研修会では電子納品ソフトに経費をかけず、できる限り経費を抑えておこなうことを目標に、電子納品に初めて取り組まれる方、既に電子納品の経験がある方、電子納品について疑問をお持ちの方などパソコン経験のある方が参加され、実際に一人一台のパソコンを操作して、パソコンの基本設定からホルダーによるデータの管理、実際の電子納品データを用いた電子納品成果品の作成を行い、最後に電子納品データをCDに焼き込むところまで体験していただきました。

受講者の中には以前受講した経験のある方もみえ、「復習になるとともに新しい知識を知ることが出来た。」、初めて受講された方からは「もっと早く受けたらよかった」、「こんなに簡単にできるのか」など研修会を評価していただくコメントを頂きました。

平成28年度はあと8回の研修会を予定しています。



参考資料

電子納品要領等改定の主なポイント

1. i-Constructionに係る電子データの納品（100Nフォルダの追加）

＜土木＞

i-Constructionの展開に伴うIT技術の全面的な活用に対応した測量・設計・施工・出来形管理等のデータを格納するためのデータフォルダ「100N」を追加しました。格納するデータ、フォルダ構成等については関連要領等に使い作成してください。

2. 拡張子が4文字のファイルへの対応

＜土木・電通・機械共通＞

ワープロソフト等で保存するファイルは、拡張子が4文字となるものが普及している状況を踏まえて、報告書のオリジナルファイル等、データを作成したソフトウェア独自の形式で格納するファイルの命名規則を、ファイル名8文字、拡張子4文字以内、区切り文字の“.”と合わせてファイル名全体で13文字以内としました。

これに伴い、CD-Rの論理フォーマットをISO9660（レベル1）からJolietとしました。

3. 圧縮図面ファイルへの対応

＜土木・電通・機械共通＞

SXF（P21）形式の図面ファイル（SXFファイルやスタファイルが添付される場合はそれらを含む）をZIP方式により圧縮し、拡張子を「P2Z」としたSXFの圧縮形式を追加しました。

4. 測地系JGD2011への対応

＜土木・電通・機械共通＞

測地系の区分にJGD2011を追加しました。

5. 発注用レイヤの追加

＜土木・電通・機械共通＞

CAD製図基準（土木・電通・機械）で規定されるレイヤー一覧に、発注用の作成において指示事項・注記・戻上げ・ハッチング等を作成するための、全工種・全図面種類共通で使用可能な「発注用レイヤ：0-0F0、0-0F0-XXXX（XXXXは日本語を含む任意）」を追加しました。（工事完成図作成の際には発注用レイヤの図形要素は削除するか、規定のレイヤに移動して残さないでください。）

6. 電子媒体の規定を変更

＜土木・電通・機械共通＞

使用する電子媒体はCD-Rを標準とし、DVD-Rは協議のうえ使用可としましたが、DVD-Rも標準使用可とし、協議することなく使用可としました。データ容量により、適宜CD-R、DVD-Rを選択してください。また、土木については、i-Constructionに係るデータは容量が大きくなることが想定されるため、納品媒体として、協議のうえBD-R（Blu-ray Disk Recordable）を使用可としました。

7. 電子媒体ケースの着表紙表記の規定を修正

＜土木・電通・機械共通＞

納品電子媒体を収納するケースの背表紙に、業者名/工事名・作成年月を明記する規定を廃止しました。

8. デジタル写真の画素数

＜デジタル写真管理規格基準＞

写真管理基準（案）と整合をとり、デジタル写真の有効画素数を100～300万画素程度としました。

9. 引用参照している情報の更新

＜土木・電通・機械共通＞

実定時点から、引用参照している情報を更新しました。

主に以下の項目の持ち直しを行っています。

- ・地籍調査サービスの地理院地図への移行
- ・発注機能コード、住所コード、業務キーワード、業務分野コード
- ・参照表
- ・SXFブラウザ提供終了に伴うSXFビューア等の使用

詳細は以下のページでご確認ください。

[https://www.saijushin.co.jp/youkyou\\_201803rev/](https://www.saijushin.co.jp/youkyou_201803rev/)

これらの基準/ガイドラインにつきましては、今後のメジャーバージョンアップで順次対応を予定しています。